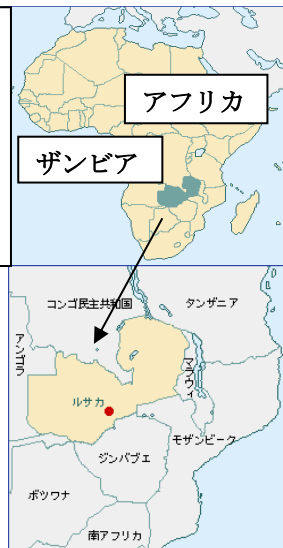


認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 146 号 (R5.10.7)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 10月となりました。8月、9月と記録的に気温の高い月でしたが、今月に入り暑さもようやくしのぎやすくなってきましたね。皆様にはどのような秋を迎えておられるのでしょうか？

さて、ORMZ ニュース第 146 号では、ヘルスポスト設置の進捗状況（順調に進んでいます）、巡回診療活動の報告、各地域のコミュニティヘルスワーカーさん達に対する研修の様子などをお伝えします。どうぞご覧ください。

皆様には引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い致します。

現地の状況、事務所だより（山本ひとみ）

【ヘルスポスト設置の進捗状況】

建設は順調に進んでいます。この一ヶ月で、ヘルスポストはほぼ外観ができあがり、内部の壁の塗装やベランダの工事が進んでいます。またスタッフハウスについては、屋根もできあがり、天井もきれいに出来ています。

10月2日には、チサンバ郡の担当官2名が現地を訪れ、建設状況の調査視察がありました。いくつかコメントが出され、業者に伝えています。

10月末の完成を目指していますので、来月のニュースでは完成した様子をお知らせできるのではと考えております。写真をご覧ください。



ヘルスポスト本体

(上左) 屋根の骨組みができ、ほぼ外観ができあがりました

(上右) ベランダ部分の工事の様子です

(左) 内部の壁をきれいに塗っています

*この部屋は診察室などと、部屋のイメージがわくようになりました



(左) スタッフハウスの外観



(右) 天井もきれいにできあがりました

【巡回診療】

9月6日 ルアノ

- ・診療数 89 名、マラリア陽性数 5 名中 1 名 妊産婦検診 24 名 道中の診察 3 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、胃腸炎、皮膚疾患、う歯（口腔内疾患を含む）
- ・重症例：なし
- ・他の医療機関への紹介：15 歳男性 1 週間前からの左鼠径部の痛みを訴え、ヘルニア嵌頓疑いでチペンビに紹介
- ・5 歳未満の小児 予防接種の種類と接種した人数：MRV（麻疹風疹）：4、OPV（経口ポリオ）、IPV（不活化ポリオ）：6、PCV（肺炎球菌）：5、ROTA（ロタウイルス）：6、DPT-HepB-Hib（五種混合：ジフテリア、百日咳、破傷風、B 型肝炎、ヒブ）：5 BCG:11
- ・チペンビルーラルヘルスセンターにて 2023 年 9 月 5 日ルアノの女性が男児を出産された。
- ・チペンビルーラルヘルスセンター責任者が「先日ルアノから妊娠中の女性が来たが、子宮内胎児死亡でリテタ病院に搬送された。女性は胎児が死亡していることを知らなかった。超音波検査を受けていたら、判明していたことだ。超音波検査の重要性を感じる事例だった。今後、巡回診療の際には超音波検査できる体制をつくりたいと思う」と話された。
- ・杉本尊史先生（長崎大学病院、国境を越えた地域医療支援機構）が同行

*写真は到着後、カルテを運ぶ様子



9月13日 サンダラ

- ・診療数 59 名、マラリア陽性数 6 名中 0 名、 妊産婦検診 11 名、 道中の診察 0 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、消化器疾患、胃腸炎
- ・重症例：なし ・他の医療機関への紹介：なし
- ・5 歳未満小児の予防接種の種類と接種した人数:MRV（麻疹風疹）:5、OPV（経口ポリオ）:20、IPV（不活化ポリオ）:5、PCV（肺炎球菌）:13、ROTA（ロタウイルス）:13、DPT-HepB-Hib（五種混合:ジフテリア、百日咳、破傷風、B 型肝炎、ヒブ）:13、VitaminA:3
- ・妊婦の破傷風接種：5
- ・出産予定日がきている女性。7 人目の出産になるため、スタッフから施設での出産を強く推奨された。帰路一緒に移動する話も出たが、準備ができていなかったため翌日自分で施設に移動することになった。
- ・4 人目を妊娠中の 20 代女性。出産した 3 人は 1 年以内に死亡(1 人目 9 ヶ月、2 人目 1 ヶ月、3 人目 7 ヶ月)して、成長している子はいないと言う。来月出産予定。スタッフから予定日より早く施設に行き、

出産に備えるよう勧められた。

- ・コミュニティヘルスワーカーの女性のひとりが、逆子で死産となった。本人も調子が悪いと聞いた。
- ・杉本尊史先生(長崎大学病院、国境を越えた地域医療支援機構)が同行

*写真:巡回診療では多くの人が集まるため、地区の会議が開催



9月20日 リテタ

- ・診療数 101 名、マラリア陽性数 10 名中 6 名、 妊産婦検診 4 名、 道中の診察 0 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、結膜炎など目の疾患、消化器疾患、う歯（口腔内疾患を含む）
- ・重症例：なし ・他の医療機関への紹介：なし
- ・予防接種の種類と接種した人数：OPV(経口ポリオ)：4、PCV(肺炎球菌)：2、DPT-HepB-Hib（五種混合：ジフテリア，百日咳，破傷風，B型肝炎，ヒブ）：2、ROTA(ロタウイルス)：3、MRV（麻疹風疹）：1
- ・妊娠している人でも妊産婦検診を受けなかった人がいた。リテタヘルスポストで検診済みなら良いのだが。
- ・NHCsの参加が少ないため、運転手が新規受付を手伝ってくれた。
- ・自分のカルテノートの番号を持ってこない人が多い。が、15人ほどは自分のカルテ番号を持ってきてくれた。カルテ番号を持っていると、本人のノートを探すのが簡単、とわかってくれるとうれしい。ほかの人も手順を理解して、番号札を持ってきてくれることを望む。
- ・背広を着た男性が複数来られた。教会から来られたという。リテタでスーツ姿の男性を初めて見た。
- ・杉本尊史先生(長崎大学病院、国境を越えた地域医療支援機構)が同行

*写真：ジャカラランダの花が咲き誇っていた



9月27日 ニャンカンガ

- ・診療数 100 名、マラリア陽性数 7 名中 2 名 妊産婦検診 10 名 道中の診察 0 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、胃腸炎、腰痛などからだの痛み、皮膚疾患、結膜炎など目の疾患
- ・重症例：なし
- ・他の医療機関への紹介：なし
- ・予防接種の種類：MRV(麻疹風疹)、OPV(経口ポリオ)、PCV(肺炎球菌)、ROTA(ロタウイルス)、DPT-HepB-Hib（五種混合：ジフテリア，百日咳，破傷風，B型肝炎，ヒブ）、BCG *接種人数は後日確認
- ・早産の男児。鼻中隔欠損症のため、Beit CURE Hospital of Zambiaに行き、手術を受けることになったと連絡を受けた。
- ・保健省が9月25日～30日の間、HPV（子宮頸がんワクチン）キャンペーン実施。ニャンカンガプライマリースクール(Nyankanga Primary School)でグレード3～9年生対象に、68名の学生にワクチンが接種されたとのこと。
- ・ルアノのシェレニ村から7歳の男児が、父親と一緒にバイクでムワプラまで来ていた。熱があり腹が膨れている状態。ムワプラで点滴を受けた様子。紹介状が準備されており、チョングエ郡病院に搬送し、病院スタッフに引き継いだ。

リフレッシャー研修実施報告

・巡回診療の対象4か所、ルアノ、サンダラ、リテタ、ニャンカンガ、それぞれの地域にコミュニティヘルスワーカー(CHWs: Community Health Workers)と住民保健委員会のメンバー(NHCs: Neighbourhood Health Committees)がボランティアで活動してくれています。

一堂に会して研修を行うのも良いのですが、交通手段や距離の問題でメンバー全員が移動するのは困難なので、各地で研修を実施しました。

・**9月11日、ニャンカンガ**：研修の内容は、第一部は全員を対象に、技術や知識のおさらいと確認と新しく導入する身長計の使用について。第二部はCHWsのみ対象に、マラリア薬など薬の処方に関して復習しました。研修は実習もふくめ、全員参加で行われました。歯の疾患が多いので、地域の人へ歯磨きの大切さを伝えるとともに、歯ブラシがないならうがいで済ませよう勧めることを確認。参加者からは血圧や、小児の低栄養状態の判断と対応についての質問があるなど、活発な研修となりました。



9月15日、ルアノ：対象メンバー17人中16人参加と素晴らしい出席率。実習に積極的に参加し、質問も多くなされ、有意義な時間となりました。

9月22日、サンダラ：“ザンビアンタイム”と言われるように、ザンビアでの集まり事、会議やイベントは時間通りに始まらないことが多いのですが、10時の開始予定前、9時52分サンダラに着くと対象メンバーの半数以上が集まっていました。研修には村長さんも参加いただき、実習に全員参加で有意義な研修となりました。



9月30日、リテタ：リテタはリテタヘルスポストで行いました。ヘルスポストへの道のりは、ムルングシ川を渡る必要があり、車は川の手前に止め、研修に使う資料や道具を手分けして運びました。リテタのNHCsメンバーは入れ替わっており、研修を初めて受ける人がいました。非接触型の体温計や血圧計を扱うのも初めてでちょっと戸惑う人もいましたが、研修でしっかり学ばれたようです。



賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・賛助会費(個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上)及びご寄附(金額は問いません)のご協力をよろしくお願いします。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附(賛助会費含む)をいただいた際には翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書(賛助会費も寄附金と同様税控除の対象)をお届けします。
- ・ご不明の点は日高 (info@ormz.or.jp または hidaka1956@gmail.com) までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九 口座記号：01720-9 口座番号：0126351

加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称 トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

令和5年(2023年)も多くの皆様のご支援を心からお願い申し上げます。